

2024年9月17日

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

J Aグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として助け合いの精神のもとに、継続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を目指しています。

その中で、北海道信用農業協同組合連合会（以下、「当会」といいます。）は、協同組合組織の農業専門金融機関として、会員 J Aとその構成員である組合員の経営と生活の向上を図り、もって国民経済の健全な発展に寄与していくこと、また、地域金融機関として、組合員等の利用者ニーズに対し J Aと一体になって金融サービスを提供することにより、農業およびその関連産業の振興、地域社会の活性化に貢献することを経営理念に掲げています。

当会では、この理念のもと「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I」）も同時に公表いたします。

北海道信用農業協同組合連合会

I.取組状況

1 お客さまへの最適な商品提供 【原則 2 本文および（注）、原則 3（注）原則 6 本文および（注 2、3）】

- 当会は、お客さまに提供する金融商品について最善の提案を目指し、特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえでお客様の多様なニーズにお応えできるもの、さらにより長期投資に重きを置いた商品を選定しております。

なお、当会は金融商品の組成に携わっておりません。

- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的、継続して商品ラインアップの見直しを行っております。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ（2024年3月末時点）>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	4 (前年度末：4)
株式型	4 (前年度末：4)	6 (前年度末：6)
REIT型	1 (前年度末：2)	2 (前年度末：2)
バランス型	7 (前年度末：7)	

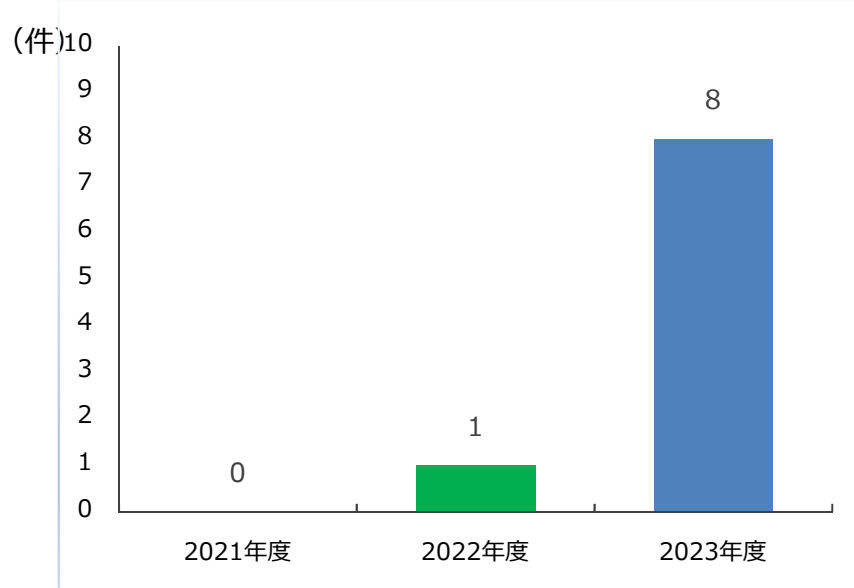
※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

I.取組状況

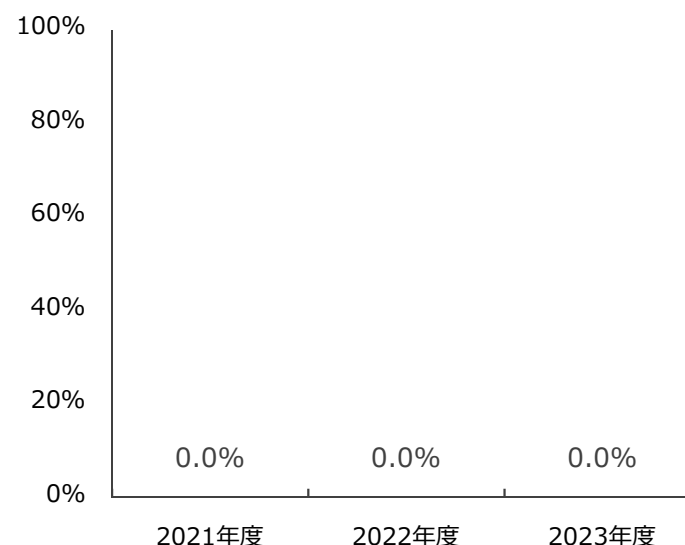
2 お客さま本位のご提案と情報提供①【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

- お客さまのお考えを丁寧にお伺いし、投資のご経験や知識、年齢、収入、資産状況および投資目的を踏まえ、「資産運用ガイダンス」や「JAバンクセレクトファンドマップ」を使用して、お客さまのニーズに沿った金融商品をご提案しております。また、お客さまに安定的な運用成果をご享受いただくために、分散投資・長期投資の有用性をご提案しております。
- 当年度、「投信つみたて」契約は8件の実績となりました。なお、当年度における「毎月分配型ファンド」の販売実績はありません。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



I.取組状況

2 お客様本位のご提案と情報提供②【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

- 当会は、お客様の投資判断に資するよう、商品のリスク・特性について、リスク・リターンの程度やサービス内容の複雑さ、情報の重要度に配慮して「JAバンクセレクトファンドマップ」、「契約締結前交付書面」等を用いてわかりやすく情報提供を行っております。
- お客様にご負担いただく手数料がどのサービスの対価であることについても、「契約締結前交付書面」、「購入時手数料早見表」を用いて丁寧かつ分かりやすく説明を行っております。
- なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。

I.取組状況

3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および（注）、原則4、原則5（注4）】

- お客さまへの商品の選定や情報提供にあたり、当会が定める「利益相反管理方針」等に基づき、利益相反のおそれのある取引類型やその他の特定の方法、管理方法の定めを遵守し、お客さま本位の業務運営が維持されるよう利益相反管理の態勢を維持しております。
- お客さまへの商品の選定や情報提供にあたり、類似した商品で手数料率が異なるものは、該当する商品を比較し分かりやすい説明を行っております。

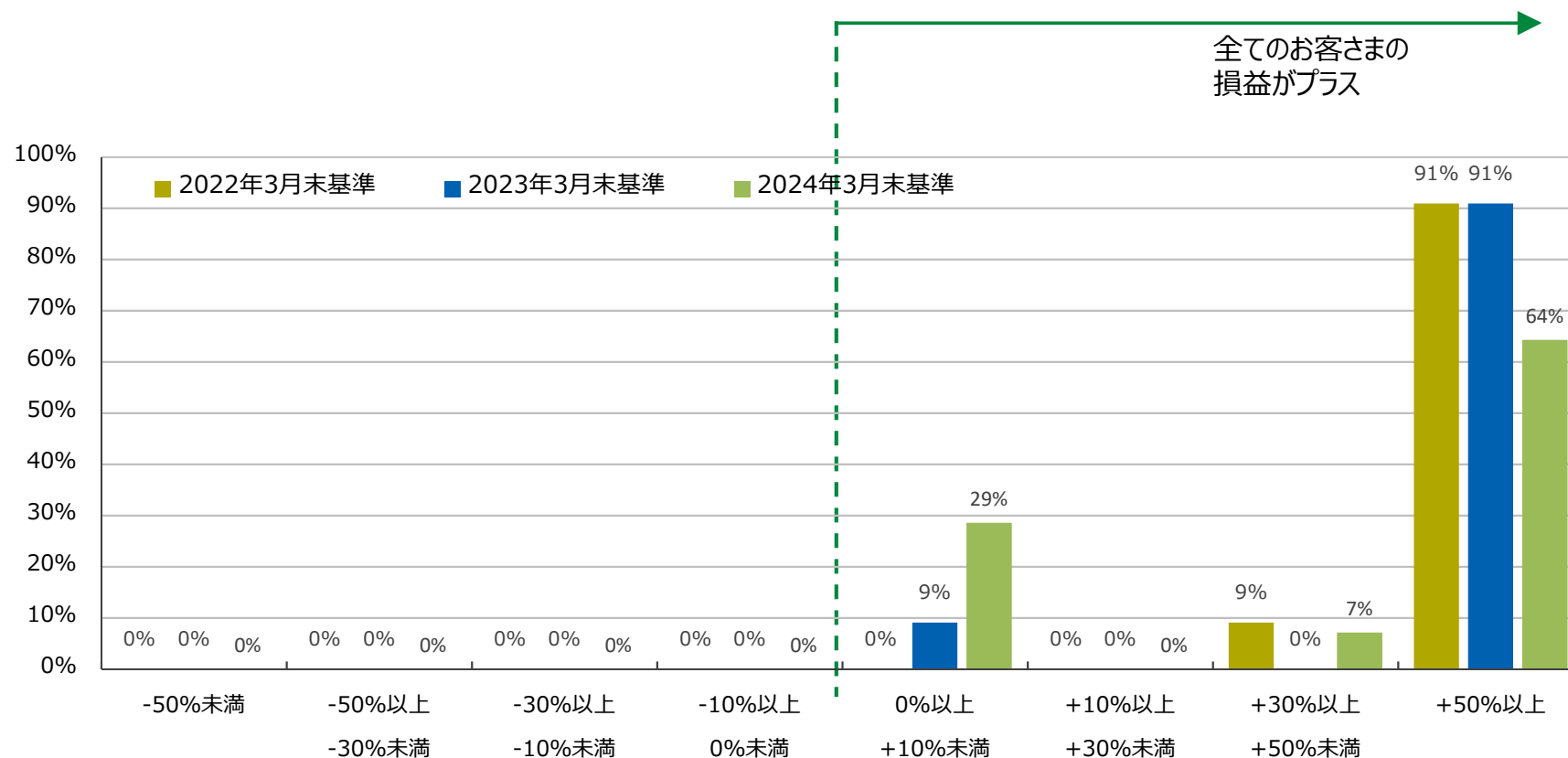
4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および（注）、原則6（注5）】 【原則7本文および（注）】

- 当会は、役職員の「行動憲章」の定めを遵守し、お客さま本位の業務運営を行っております。
- 証券外務員の資格取得および資格既取得者に対する定期的 e ラーニング研修、また金融関連の知識習得に資する投資信託、F P 等関連する資格取得を奨励し、人材育成に取り組んでおります。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

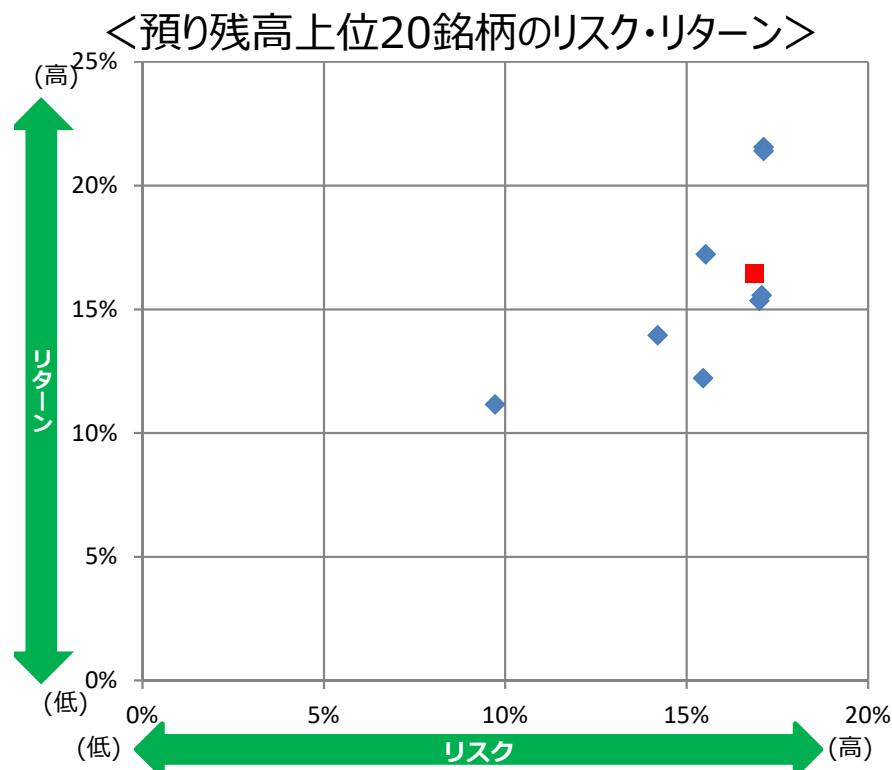
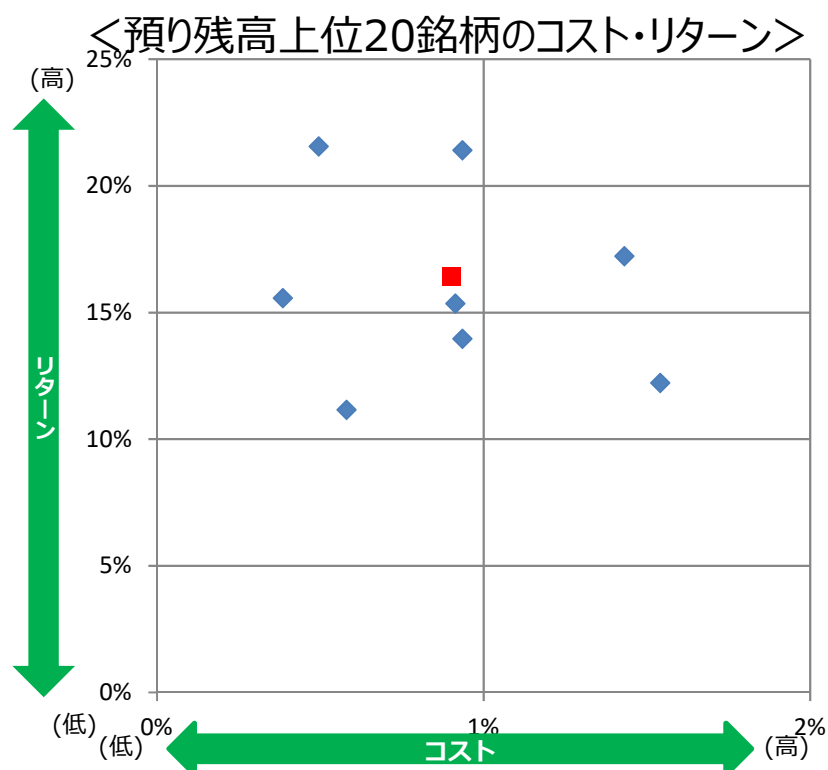
- 「運用損益別顧客比率」は、お客さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2024年3月末時点では全てのお客さまの損益がプラスとなりました。



Ⅱ.比較可能な共通K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2024年3月末)

- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.90%、平均リスク16.89%に対して、平均リターンは16.42%でした。



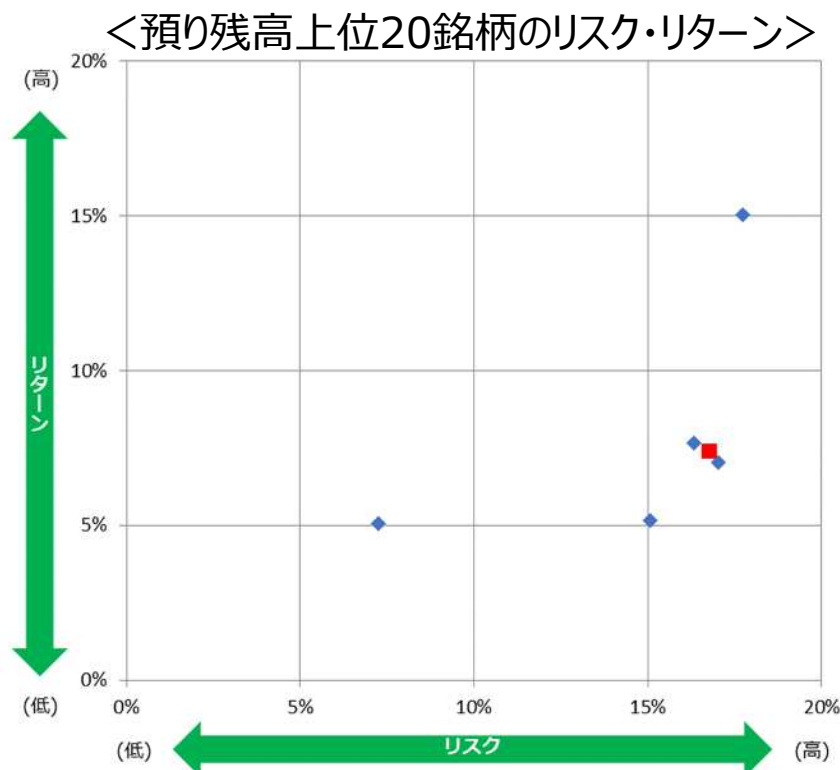
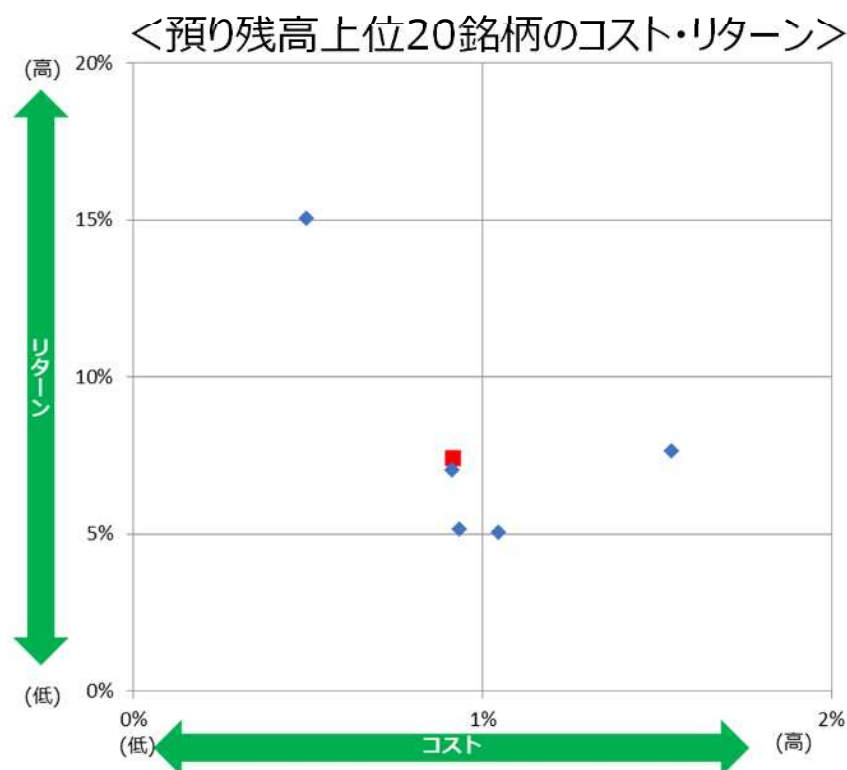
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、10ページに記載しております。

※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2023年3月末）

- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.92%、平均リスク16.75%に対して、平均リターンは7.41%でした。



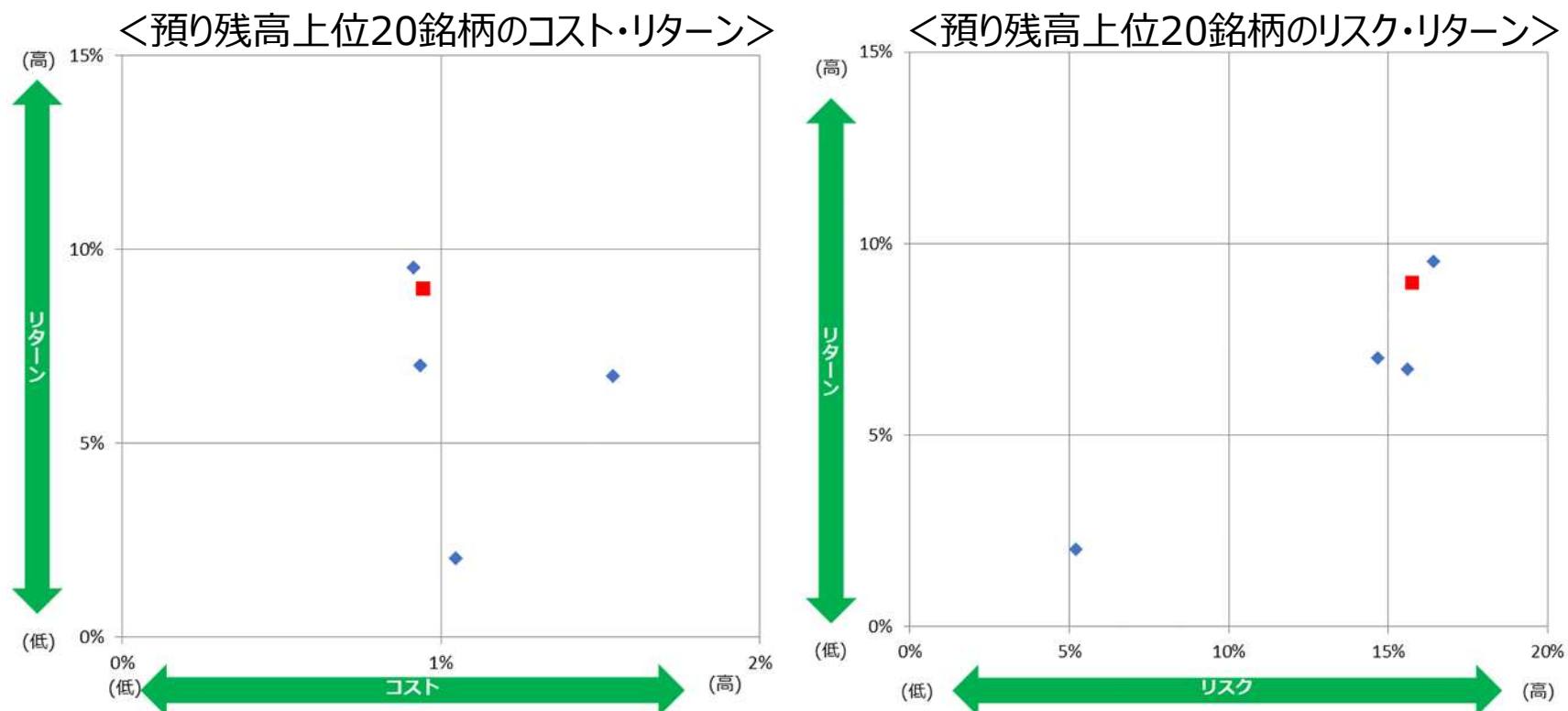
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、11ページに記載しております。

※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2022年3月末)

- 2022年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.94%、平均リスク15.76%に対して、平均リターンは8.98%となりました。



Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2024年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.34%	17.00%	0.91%
2	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	21.55%	17.11%	0.50%
3	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	21.40%	17.11%	0.94%
4	DIAM世界好配当株オープン毎月決算	アセットマネジメントOne（株）	12.22%	15.44%	1.54%
5	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	17.22%	15.52%	1.43%
6	JATOPIXオープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	13.95%	14.20%	0.94%
7	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	11.15%	9.72%	0.58%
8	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.57%	17.06%	0.39%
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		16.42%	16.89%	0.90%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は8本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.05%	17.04%	0.91%
2	つみたてNIISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.05%	17.74%	0.50%
3	DIAM世界好配当株オープン毎月決算	アセットマネジメントOne(株)	7.65%	16.33%	1.54%
4	農中US債券オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	5.07%	7.26%	1.05%
5	JATOPIXオープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	5.17%	15.06%	0.94%
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		7.41%	16.75%	0.92%

※ 2023年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は5本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2022年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	9.53%	16.42%	0.91%
2	農中US債券オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	2.02%	5.21%	1.05%
3	D I A M世界好配当株オープン毎月決算	アセットマネジメントOne(株)	6.73%	15.61%	1.54%
4	J A T O P I Xオープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.00%	14.67%	0.94%
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		8.98%	15.76%	0.94%

※ 2022年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は4本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。